

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第 10 号 R3.9.22(水)

藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美



「岸和田だんじり祭り」

シルバーウィーク三連休のニュースで「岸和田だんじり祭り、観覧自粛の呼びかけの中 2 年ぶり復活」が取り上げられていました。

このだんじり祭りは江戸時代から約 300 年も続く五穀豊穡を祈る神事であることから、伝統の継承のためにも 2 年連続の中止は避けたかったようです。これを実施するには何ヶ月も前から計画を進める必要があるため、**主催者**はせっかく整えても、感染状況によっては中止の可能性もあるという覚悟で開催を決断し、準備を進めてこられたに違いありません。結果として大阪の新規感染者数が減少傾向だったことは幸いでしたが、祭りの開催には多くの批判があったそうです。それでも、運営側はだんじり祭りを成功させるための方法を考え、曳き手へのワクチン接種のほか細かい感染対策のルールを決め、感染状況とにらめっこしていたのではないのでしょうか。

一方、普段だんじり祭りに**参加している町**も、開催の決定を受け、参加・不参加の決断を迫られました。見えない感染状況、曳き手の感染不安、観覧者の密などきつとあれこれ悩んだでしょう。結果として 22 の町のうち 5 つの町が参加自粛をしたそうです。おそらく参加した町も、自粛した町も苦渋の決断だったと思います。

観覧者は例年に比べると少なかったようですが、観覧を防ぐために張った幕の隙間から多くの人が写真を撮っていたようです。そこが密になっていたと報道がありました。「どうしても生で観たかった」とインタビューに答えていた観覧者には、これまでの主催者側や参加者の苦悩をもう少し理解して欲しいなと思わずにはいられませんでした。

どのような行事も**主催者・参加者・それを応援する人**の気持ちがひとつになって初めて成功するのだなと感じた一コマでした。

「クラス旗が完成」

体育大会に向けて各クラスの応援旗が完成しました。2 学期に入り、クラスごとに下絵の選出をし、先々週から作成が開始しました。試合の近い部活動もある中、放課後の時間を工面しながら作業している子もいました。出来映えは、さすが中学生！凝ったデザインも多く、塗り方も丁寧で、色の使い方もクラスカラーに合わせて効果的に描かれています。先週金曜日の放課後に玄関ホールに全クラスの旗を掲示しました。火曜日には登校してきた生徒は誰もがそこで足を止め、ロクに「すごいなあ」と言っていました。9 月 28 日には学級旗の投票があり、表彰されることになっています。

「体育大会の土曜開催」

今年度の体育大会は 10 月 2 日(土)です。中学校の体育大会の目的は生徒相互の連帯を高め、よりよい学級・学年・全校の集団を作ることや教職員が普段授業でふれあう学年だけでなく他学年の生徒を指導することで生徒理解を深めることとしています。この主旨を踏まえると学年ごとの開催は考えられません。しかし、本校は生徒・教職員を含めると 600 人以上が運動場に出ることになります。以前お伝えしたとおり、様々な配置のシュミレーションを行った結果、この人数に十分な距離を確保すると、保護者や来賓の皆さまに入場いただくことは難しいと判断し、無観客を決断しました。ただし、無観客ならば「せめてライブ配信や写真販売を」との声も多く、ライブ配信と写真撮影を専門業者に依頼しています。また、配信を少しでも多くの方に観ていただきたく、特に平日お休みがとりにくい方や、小学生の妹や弟に中学校の体育大会の様子を観ていただくことは大変意味のあることだと考え、予定通り土曜開催とします。保護者や地域の皆さまにはこれらをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ライブ配信の URL は本校生徒の各家庭のみにお知らせします。